

Dell Latitude 5300

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピュータのセットアップ	5
章 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
章 3: シャーシの概要	8
ディスプレイ ビュー.....	8
左面図.....	9
右面図.....	9
パームレストの図.....	10
底面図.....	11
章 4: 技術仕様	12
システム情報.....	12
プロセッサ.....	13
メモリ.....	13
ストレージ.....	13
システム基板のコネクタ.....	14
メディアカードリーダー.....	14
オーディオ.....	14
ビデオカード.....	15
カメラ (オプション).....	15
通信.....	16
モバイルブロードバンド.....	16
ワイヤレス.....	16
ポートとコネクタ.....	16
ディスプレイ.....	17
キーボード.....	17
キーボードのショートカット.....	18
タッチパッド.....	18
指紋認証リーダー (オプション).....	19
オペレーティングシステム.....	19
バッテリー.....	19
電源アダプタ.....	20
センサーおよびコントロールの仕様.....	21
寸法と重量.....	21
コンピュータ環境.....	21
セキュリティ.....	21
セキュリティ オプション—接触型スマートカードリーダー.....	22
セキュリティ オプション—非接触型スマートカードリーダー.....	23
セキュリティソフトウェア.....	24
章 5: ソフトウェア	26
Windows ドライバのダウンロード.....	26

章 6: セットアップユーティリティ	27
ブートメニュー.....	27
ナビゲーションキー.....	27
ブート シーケンス.....	28
セットアップユーティリティのオプション.....	28
一般オプション.....	28
システム設定.....	29
ビデオ画面のオプション.....	31
セキュリティ.....	32
セキュアブート.....	33
インテルソフトウェア ガード エクステンションズのオプション.....	34
パフォーマンス.....	34
電源管理.....	35
POST 動作.....	36
管理機能.....	37
Virtualization Support (仮想化サポート)	37
ワイヤレスオプション.....	38
メンテナンス.....	38
システムログ.....	39
Windows での BIOS のアップデート.....	39
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	40
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	40
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	41
システム セットアップパスワードの割り当て.....	41
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	41
章 7: ヘルプ	42
Dell へのお問い合わせ.....	42

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを完了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
メモ: セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。

表 1. Dell アプリを見つける (続き)

Dell アプリ	詳細
	<p>Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。</p>
	<p>SupportAssist コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。</p> <p>メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell アップデート 重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。</p>
	<p>Dell Digital Delivery さまざまなソフトウェア アプリケーション (購入済みだがブライインストールされていないソフトウェアなど) を、お使いのコンピューターにダウンロードします。</p>

4. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

メモ: Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

メモ: このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。

メモ: 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

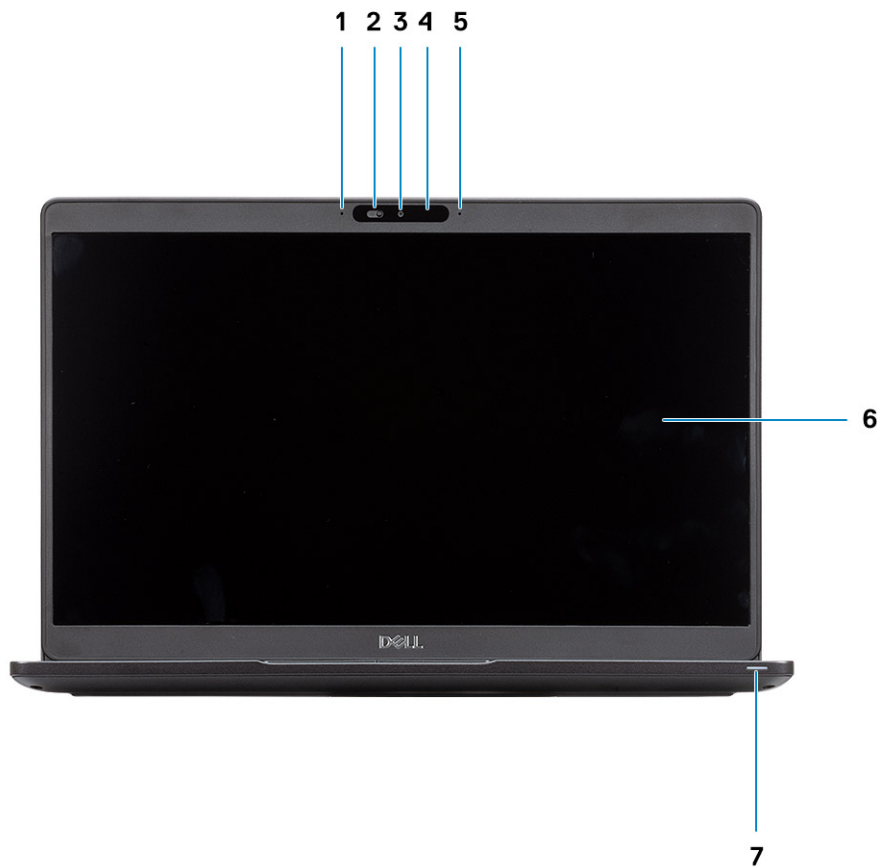
1. お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
2. Windows 検索に **回復** と入力します。
3. 検索結果で、[**回復ドライブの作成**] をクリックします。
[**ユーザーアカウント制御**] ウィンドウが表示されます。
4. [**はい**] をクリックして続行します。
[**回復ドライブ**] ウィンドウが表示されます。
5. [**システムファイルを回復ドライブにバックアップします**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
6. [**USB フラッシュドライブ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
7. [**作成**] をクリックします。
8. [**完了**] をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『**サービス マニュアル**』で、「**トラブルシューティング**」の項を参照してください。

シャーシの概要

トピック：

- ディスプレイ ビュー
- 左面図
- 右面図
- パームレストの図
- 底面図

ディスプレイ ビュー



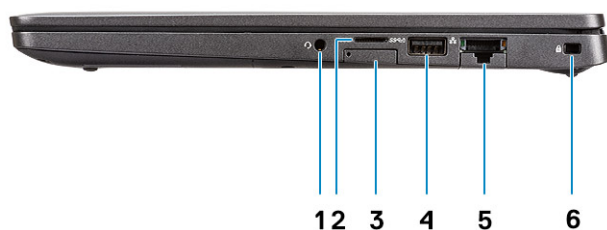
1. アレイ マイクロフォン
2. カメラ用シャッター
3. カメラ (オプション)
4. カメラステータスライト
5. アレイ マイクロフォン
6. LCD パネル
7. LED アクティビティ ライト

左面図



1. 電源コネクタ ポート
2. USB 3.1 Gen 2 ポート (DisplayPort/Thunderbolt 3)(USB Type-C、オプション)
メモ: Thunderbolt 3 で構成されたシステムは、USB Type-C ポートを介して電源供給をサポートします。
3. HDMI ポート
4. USB 3.1 Gen 1
5. スマート カード リーダー (オプション)

右面図



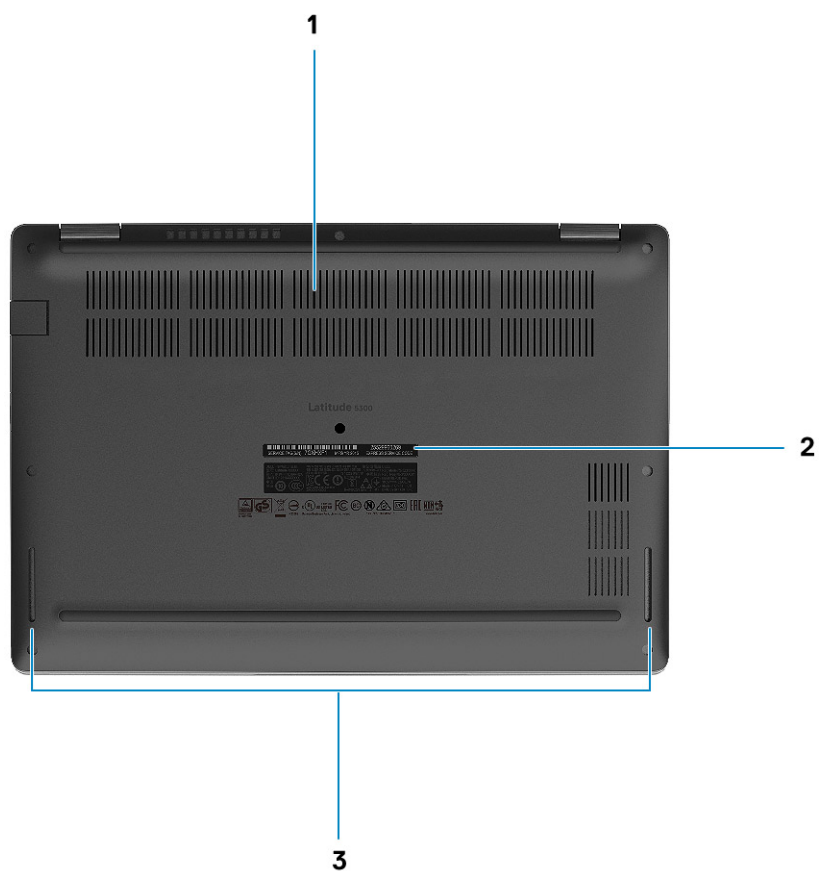
1. ヘッドセット/マイクロフォン ポート
2. microSD カード リーダー
3. micro-SIM カード スロット
4. USB 3.1 Gen 1 ポート (PowerShare 対応)
5. ネットワーク ポート
6. くさび形ロック スロット

パームレストの図



1. 電源ボタン（オプションの指紋認証リーダー内蔵）
2. キーボード
3. タッチパッド

底面図



1. サーマル孔
2. サービス タグ ラベル
3. スピーカー

技術仕様

①メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- システム情報
- プロセッサ
- メモリ
- ストレージ
- システム基板のコネクタ
- メディアカードリーダー
- オーディオ
- ビデオカード
- カメラ (オプション)
- 通信
- モバイルブロードバンド
- ワイヤレス
- ポートとコネクタ
- ディスプレイ
- キーボード
- タッチパッド
- 指紋認証リーダー (オプション)
- オペレーティングシステム
- バッテリー
- 電源アダプタ
- センサーおよびコントロールの仕様
- 寸法と重量
- コンピュータ環境
- セキュリティ
- セキュリティ オプション—接触型スマート カード リーダー
- セキュリティ オプション—非接触型スマート カード リーダー
- セキュリティ ソフトウェア

システム情報

表 2. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen3 まで
外付けバスの周波数	最大 8 GT/秒

プロセッサ

メモ: プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
第 8 世代インテル Core i7-8665U プロセッサ (8 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.9 GHz ~ 4.8 GHz、15 W TDP)(vPro)	インテル UHD グラフィックス 620
第 8 世代インテル Core i5-8365U プロセッサ (6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.6 GHz ~ 4.1 GHz)(vPro)	インテル UHD グラフィックス 620
第 8 世代インテル Core i5-8265U プロセッサ (6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.6 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620
第 8 世代インテル Core i3-8145U プロセッサ (4 MB キャッシュ、2 コア/4 スレッド、2.1 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620

メモリ

表 4. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	SoDIMM スロット x 2
スロットごとにサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none">● 4 GB (1 x 4 GB)● 8 GB (2 x 4 GB)● 8 GB (1 x 8 GB)● 16 GB (2 x 8 GB)● 16 GB (1 x 16 GB)● 32 GB (2 x 16 GB)
タイプ	デュアルチャネル DDR4
速度	2666 MHz 非 ECC SDRAM(インテル第 8 世代プロセッサでは 2400 MHz で動作)

ストレージ

表 5. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
SATA ソリッドステートドライブ (クラス 20)	M.2 2280 SSD	SATA	最大 512 GB

表 5. ストレージの仕様 (続き)

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
PCIe ソリッドステート ドライブ (クラス 35)	M.2 2230 SSD	PCIe Gen 3x2 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB
PCIe ソリッドステート ドライブ (クラス 40)	M.2 2280 SSD	PCIe Gen 3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 1 TB
SED ソリッドステート ドライブ (クラス 40)(Opal 2.0)	M.2 2280 SSD	PCIe NVme Opal 2.0 SED PCIe	最大 512 GB

システム基板のコネクタ

表 6. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> 1 x M.2 2230 ハイブリッド Key-E コネクタ 1 x M.2 2280 Key-M コネクタ 1 x M.2 3042 Key-B コネクタ

メディア カードリーダー

表 7. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	MicroSD カード : 最大 2 TB をサポート

オーディオ

表 8. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Realtek ALC3254 (Waves MaxxAudio Pro 搭載)
ステレオ変換	24 ビット DAC (デジタル/アナログ変換) および ADC (アナログ/デジタル変換)
タイプ	HD オーディオ
スピーカー	2 台
インタフェース	内部 : <ul style="list-style-type: none"> インテル HDA (ハイデフィニッション オーディオ) 外部 : <ul style="list-style-type: none"> 7.1 チャンネル出力 (HDMI 経由) カメラ モジュールのデジタル マイク入力 ヘッドセット コンボ ジャック (ステレオ ヘッドフォン/マイク入力)
アンプ内蔵スピーカー	ALC3254 (クラス D 2 W) に内蔵
外付けボリューム コントロール	メディアコントロールショートカットキー

表 8. オーディオの仕様 (続き)

特長	仕様
スピーカー出力 :	平均 : 2 W ピーク : 2.5 W
マイク	デジタルアレイマイク

ビデオカード


表 9. ビデオ カードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	<ul style="list-style-type: none"> インテル Core i7-8665U CPU (vPro) インテル Core i5-8265U CPU インテル Core i5-8365U CPU インテル Core i3-8145U CPU 	内蔵	共有システムメモリ	HDMI 1.4b ポート	1920 x 1200@60 Hz

カメラ (オプション)

表 10. カメラの仕様

特長	仕様
カメラのタイプ	RGB、HD 固定フォーカス
IR カメラ	6 mm IR カメラ (オプション)
解像度	静止画像 : HD 解像度 (1280 x 720) 動画 : HD 解像度 (1280 x 720) (30 fps)
対角視野角	IR : 87 度 RGB : 78.6 度
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー

 **メモ:** RGB + IR カメラは Windows Hello アプリケーション専用であり、他のアプリケーションでは使用できません。

通信

表 11. 通信の仕様

特長	仕様
ネットワークアダプター	内蔵接続 I219-V 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45) <ul style="list-style-type: none">● 第 8 世代インテル® Core i5-8365U● 第 8 世代インテル® Core i7-8665U 内蔵接続 I217-LM 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45) <ul style="list-style-type: none">● 第 8 世代インテル® Core i3-8145U● 第 8 世代インテル® Core i5-8265U

モバイルブロードバンド

表 12. モバイルブロードバンド

仕様
インテル XMM 7360 Global LTE-Advanced

ワイヤレス

表 13. ワイヤレスの仕様

仕様
インテル Dual Band Wireless AC 9560 (802.11ac) 2x2 + Bluetooth 5.0
Qualcomm QCA61x4A 802.11ac デュアルバンド (2x2) ワイヤレス アダプタ + Bluetooth 4.2
インテル Wi-Fi 6 AX200 2x2.11ax 160 MHz + Bluetooth 5.0 (オプション)

ポートとコネクタ

表 14. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモ리카ードリーダー	● microSD カードリーダー x 1
SIM カードリーダー	micro SIM カード スロット x 1
USB	● USB 3.1 Gen 1 (Type-A) ポート x 1 ● USB 3.1 Gen 1 ポート (PowerShare 対応) (1) ● USB Type-C 3.1 Gen 2 ポート x 1 (DisplayPort/Thunderbolt 3 対応) (オプション)
セキュリティ	Noble Wedge ロック スロット
オーディオ	ヘッドセット (ヘッドフォンとマイクのコンボ) ポート (1)
ビデオ	HDMI 1.4b ポート x 1 (最大 4k@30 Hz をサポート)
ネットワークアダプター	RJ-45、10/100/1000、LED インジケータなし

ディスプレイ

表 15. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none">● 13.3 インチアンチグレア、HD (1366 x 768)、WLED、16 : 9● 13.3 インチアンチグレア、FHD (1920 x 1080)、WLED、16 : 9 (オプション)● 13.3 インチアンチグレア、FHD (1920 x 1080)、WLED、タッチ内蔵、16 : 9 (オプション)
高さ (アクティブ エリア)	165.24 mm (6.51 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	293.76 mm (11.57 インチ)
対角線	337.04 mm (13.3 インチ)
PPI (1 インチあたりの画素数)	<ul style="list-style-type: none">● 118● 166 (オプション)
コントラスト率	<ul style="list-style-type: none">● HD - 800 : 1● FHD - 1000 : 1● FHD IT - 700 : 1
明るさ/輝度 (標準)	<ul style="list-style-type: none">● HD - 220 ニット、NTSC 45%● フル HD - 300 ニット (オプション)、sRGB 100%● フル HD IT - 300 ニット、NTSC 72%
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 (最小)	[HD] +/- 40 度 +/- 80 度 (オプション)
垂直可視角度 (最小)	[HD] の上/下 10/30 度 +/- 80 度 (オプション)
電力消費量 (最大)	3.5 W <ul style="list-style-type: none">● HD - 2.85 W● FHD - 1.99 W● FHD IT - 4.8 W

キーボード

表 16. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none">● 81 (アメリカおよびカナダ)● 82 (英国/ブラジル)● 85 (日本)
サイズ	フルサイズ <ul style="list-style-type: none">● X = 18.05 mm (0.7 インチ) キー ピッチ● Y = 18.05 mm (0.71 インチ) キー ピッチ
バックライト付きキーボード	オプション (バックライトおよびバックライトなし)
レイアウト	QWERTY

キーボードのショートカット

① **メモ:** キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 17. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+キー)
Fn+Esc	戻る	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音	F1 の動作
Fn+F2	音量を下げる	F2 の動作
Fn+F3	音量を上げる	F3 の動作
Fn+F4	マイクを消音する	F4 の動作
Fn+F5	キーボードバックライトをオン/オフにする	F5 の動作
Fn+F6	輝度を下げる	F6 の動作
Fn+F7	輝度を上げる	F7 の動作
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え	F8 の動作
Fn+F10	プリントスクリーン	F10 の動作
Fn+F11	ホーム	F11 の動作
Fn+F12	終了	F12 の動作
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く	--

タッチパッド

表 18. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1221 x 661
寸法	<ul style="list-style-type: none">幅 : 101.7 mm (4.00 インチ)高さ : 55.2 mm (2.17 インチ)
マルチタッチ	5 本指マルチタッチ対応 ① メモ: Windows 10 のタッチパッド ジェスチャの詳細については、 support.microsoft.com で Microsoft サポート技術情報の記事 4027871 を参照してください。

表 19. 対応ジェスチャー

対応ジェスチャー	Windows 10
カーソルの移動	対応

表 19. 対応ジェスチャー（続き）

対応ジェスチャー	Windows 10
クリック/タップ	対応
クリックしてドラッグ	対応
2本指でスクロール	対応
2本指でピンチ/ズーム	対応
2本指でタップ（右クリック）	対応
3本指でタップ（Cortanaの呼び出し）	対応
3本指で上にスワイプ（開いているウィンドウをすべて表示）	対応
3本指で下にスワイプ（デスクトップの表示）	対応
3本指で左右にスワイプ（開いているウィンドウの切り替え）	対応
4本指でタップ（アクションセンターの呼び出し）	対応
4本指で左右にスワイプ（仮想デスクトップの切り替え）	対応

指紋認証リーダー（オプション）

表 20. 指紋リーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	FPR 搭載電源ボタン
センサーテクノロジー	容量式
センサーの解像度	363 PPI
センサー領域	直径：10 mm

オペレーティングシステム

表 21. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10 Home (64 ビット) Windows 10 Professional (64 ビット) Ubuntu 18.04 LTS (64 ビット)

バッテリー

表 22. バッテリー

特長	仕様	
タイプ	3セル リチウムイオン (42 WHr) ExpressCharge	
寸法	幅	95.9 mm (3.78 インチ)
	奥行き	200.5 mm (7.89 インチ)
	幅	95.9 mm (3.78 インチ)
	奥行き	238 mm (9.37 インチ)

表 22. バッテリー (続き)

特長	仕様			
	高さ	5.70 mm (0.22 インチ)	高さ	5.70 mm (0.22 インチ)
重量 (最大)	192.50 g (0.42 lb)		270.00 g (0.60 lb)	
電圧	11.40 VDC		7.60 VDC	
寿命	300 サイクル (充電 / 放電)		300 サイクル (放電 / 充電) (標準パック) 1,000 サイクル (放電 / 充電) (LCL パック)	
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間
	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	
温度範囲 : 動作時	充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)		充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)	
温度範囲 : 保管時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)		-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	
コイン型電池	CR-2032		CR-2032	

電源アダプタ

表 23. 電源アダプタの仕様

特長	仕様	
タイプ	E5 65 W	E5 90 W
入力電圧	100 ~ 240 VAC	
入力電流 (最大)	1.5 A	1.6 A
アダプタのサイズ	寸法 インチ : 0.87 x 2.60 x 4.17 ミリ : 22 x 66 x 106	寸法 インチ : 0.87 x 2.60 x 5.12 ミリ : 22 x 66 x 130
バレル	7.4 mm	7.4 mm
重量	0.23 kg (0.51 ポンド)	0.32 kg (0.70 ポンド)
入力周波数	50 ~ 60 Hz	
出力電流	3.34 A (連続稼働時)	4.62 A
定格出力電圧	19.5 VDC	
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
温度範囲 (非動作時)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	

センサーおよびコントロールの仕様

表 24. センサーおよびコントロールの仕様

仕様
1. マザーボード上の落下防止センサー
2. ホール効果センサー(蓋が閉じているときに検知)

寸法と重量

表 25. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面 : 16.9 mm (0.66 インチ) 背面 : 19.3 mm (0.76 インチ)
幅	305.7 mm (12.03 インチ)
奥行き	207.5 mm (8.17 インチ)
重量	1.24 kg (2.73 ポンド)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 26. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 26°C	0 ~ 95 % (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS
衝撃 (最大)	105 G †	40 G ‡
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10,668 m (-50 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セキュリティ

表 27. セキュリティ

特長	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム ボード内蔵

表 27. セキュリティ (続き)

特長	仕様
ファームウェア TPM	オプション
Windows Hello のサポート	有、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタン オプションの IR カメラ
ケーブル ロック	ウェッジ型ロック
Dell スマートカード キーボード	オプション
TPM の FIPS 140-2 認証	有
ControlVault 3 による高度な認証 (FIPS 140-2 レベル 3 認証に対応)	有、FPR、SC、および CSC/NFC 用
指紋認証リーダーのみ	電源ボタンに内蔵のタッチ式指紋認証リーダー (ControlVault 3 に接続)
接触型スマート カードおよび ControlVault 3	FIPS 201 スマート カード リーダー認証/SIPR

セキュリティ オプション—接触型スマート カード リーダー

表 28. 接触型スマート カード リーダー

役職	説明	Dell ControlVault 3 スマート カード リーダー
ISO 7816 -3 クラス A カードのサポート	5V 電源スマート カードの読み取りが可能 なリーダー	有
ISO 7816 -3 クラス B カードのサポート	3V 電源スマート カードの読み取りが可能 なリーダー	有
ISO 7816 -3 クラス C カードのサポート	1.8V 電源スマート カードの読み取りが可能 なリーダー	有
ISO 7816-1 準拠	リーダーの仕様	有
ISO 7816 -2 準拠	スマート カード デバイスの物理特性 (サイズ、 接続ポイントの場所など) の仕様	有
T=0 のサポート	カードは文字レベル転送をサポートしま す	有
T=1 のサポート	カードはブロック レベル転送をサポート します	有
EMVCo 準拠	www.emvco.com に掲載されている EMVCo (電子決済規格用) スマート カ ード規格に準拠	有
EMVCo 認定	EMVCo スマート カード規格に基づいて 正式に認定	有
PC/SC OS インターフェイス	ハードウェア リーダーをパーソナルコン ピューター環境に統合するためのパー ソナルコンピューター/スマート カードの 仕様	有

表 28. 接触型スマートカードリーダー（続き）

役職	説明	Dell ControlVault 3 スマートカードリーダー
CCID ドライバーの準拠	OS レベル ドライバーの集積回路カード インターフェイス デバイスの一般的なドライバー サポート。	有
Windows 認定	WHCK によって認定されたデバイス	有
GSA による FIPS 201(PIV/HSPD-12) 準拠	FIPS 201/PIV/HSPD-12 要件に準拠したデバイス	有

セキュリティ オプション—非接触型スマートカードリーダー

表 29. 非接触型スマートカードリーダー

役職	説明	Dell ControlVault 3 非接触型スマートカードリーダー（NFC 対応）
Felica カードのサポート	Felica 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 14443 Type A カードのサポート	ISO 14443 Type A 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 14443 Type B カードのサポート	ISO 14443 Type B 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO/IEC 21481	ISO/IEC 21481 準拠の非接触型カードおよびトークンをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO/IEC 18092	ISO/IEC 21481 準拠の非接触型カードおよびトークンをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 15693 カードのサポート	ISO15693 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
NFC タグのサポート	NFC 準拠のタグ情報の読み取りおよび処理をサポートします	有
NFC リーダー モード	NFC フォーラム定義リーダー モードのサポート	有
NFC ライター モード	NFC フォーラム定義ライター モードのサポート	有
NFC ピアツーピア モード	NFC フォーラム定義ピアツーピア モードのサポート	有
EMVCo 準拠	www.emvco.com に掲載されている EMVCo スマートカード規格に準拠	有
EMVCo 認定	EMVCo スマートカード規格に基づいて正式に認定	有
NFC Proximity OS インターフェイス	OS が使用可能な NFP (Near Field Proximity) デバイスを列挙します	有
PC/SC OS インターフェイス	ハードウェアリーダーをパーソナルコンピュータ環境に統合するためのパーソナルコンピュータ/スマートカードの仕様	有

表 29. 非接触型スマートカードリーダー（続き）

役職	説明	Dell ControlVault 3 非接触型スマートカードリーダー（NFC 対応）
CCID ドライバーの準拠	OS レベル ドライバーの集積回路カード インターフェイス デバイスの一般的なドライバ サポート	有
Windows 認定	Microsoft WHCK によって認定されたデバイス	有
Dell ControlVault のサポート	デバイスは使用状況と処理のために Dell ControlVault に接続します	有

メモ: 125 Khz の近接型カードはサポートされません。

表 30. サポートされているカード

製造元	カード	対応
HID	jCOP readertest3 A カード (14443a)	有
	1430 1L	
	DESFire D8H	
	iClass (レガシー)	
	iClass SEOS	
NXP/Mifare	Mifare DESFire 8K White PVC カード	有
	Mifare Classic 1K White PVC カード	
	NXP Mifare Classic S50 ISO カード	
G&D	idOnDemand - SCE3.2 144K	有
	SCE6.0 FIPS 80K Dual+ 1 K Mifare	
	SCE6.0 nonFIPS 80K Dual+ 1 K Mifare	
	SCE6.0 FIPS 144K Dual + 1K Mifare	
	SCE6.0 nonFIPS 144K Dual + 1 K Mifare	
	SCE7.0 FIPS 144K	
Oberthur	idOnDemand - OCS5.2 80K	有
	ID-One Cosmo 64 RSA D V5.4 T=0 カード	

セキュリティ ソフトウェア

表 31. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
Dell Client Command Suite
オプションの Dell Data Security および管理ソフトウェア
Dell Client Command Suite
Dell BIOS 検証
オプションの Dell Endpoint Security および管理ソフトウェア
VMware Carbon Black エンドポイント スタンダード
Vmware Carbon Black エンドポイント スタンダード + Secureworks スレット ディテクション & レスポンス

表 31. セキュリティ ソフトウェアの仕様 (続き)

仕様
Dell Encryption Enterprise
Dell Encryption Personal
Carbonite
VMware Workspace ONE
Absolute® Endpoint Visibility and Control
Netskope
Dell Supply Chain Defense


ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- [ブートメニュー](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ブート シーケンス](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [Windows での BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワンタイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。

キー	ナビゲーション
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例: 光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワンタイムブートメニューを立ち上げる

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- 診断
 - ① **メモ:** [診断] を選択すると [SupportAssist] 画面が表示されます。

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

- ① **メモ:** お使いのタブレットノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 32. 一般規定

オプション	説明
[システム情報]	このセクションには、PC の主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [システム情報] • [メモリー構成] • [プロセッサ情報] • [デバイス情報]
[Battery Information]	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプターの種類を表示します。
[ブートシーケンス]	PC によるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [ウィンドウズブートマネージャー] • [ブートリストオプション : UEFI はデフォルトで有効に設定されています。]

表 32. 一般規定 (続き)

オプション	説明
[UEFI 起動パス セキュリティ]	<p>UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Always, Except Internal HDD] - デフォルト • [Always] • [Never]
[Date/Time]	<p>日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。</p>

システム設定

表 33. システム設定


オプション	説明
[SATA の動作]	<p>内蔵 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [AHCI] - デフォルト • [RAID] - ON : デフォルト
[ドライブ]	<p>各種オンボード ドライブを有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SATA-2] • [M.2 PCIe SSD-0]
[SMART レポート]	<p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハード ドライブ エラーを起動時に報告するかどうかを制御します。</p> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[USB 設定]	<p>内部/内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)] • [Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする)] <p>すべてのオプションがデフォルトで設定されています。</p> <p> メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
[Dell Type-C ドッキング ステーション設定]	<p>USB や Thunderbolt アダプターの設定とは関係なく、Dell の WD および TB のドック ファミリー (タイプ C ドック) と接続できるようにします。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[Thunderbolt™アダプターの設定]	<p>次の Thunderbolt オプションを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Thunderbolt (デフォルトで有効)]

表 33. システム設定 (続き)


オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● [Thunderbolt の起動サポートを有効にする] ● [Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot (Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) Pre-boot を有効にする)] <p>次のセキュリティレベルを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [No Security (セキュリティなし)] ● [User Authentication (デフォルトで有効)] ● [Secure Connect (セキュアな接続)] ● [ディスプレイ ポートと USB のみ]
[Thunderbolt™の自動スイッチ]	<p>このオプションは Thunderbolt コントローラーが PCIe デバイス エNUMERATION に使用する方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Auto Switch]: BIOS はインストール OS のメリットを最大限に得られるように、Thunderbolt PC デバイス エNUMERATION モードを BIOS Assist と Native の間で自動的に切り替えます ● [Native Enumeration]: BIOS は Thunderbolt コントローラーをネイティブ モードにプログラムします (自動切り替え機能は無効) ● [BIOS Assist Enumeration]: BIOS は Thunderbolt コントローラーを BIOS Assist モードにプログラムします (自動切り替え機能は無効) <p> メモ: この変更を適用するには再起動が必要です。</p>
[USB PowerShare]	<p>このオプションは、USB PowerShare 機能の動作を有効または無効にします。</p> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
[オーディオ]	<p>組み込み型オーディオコントローラーを有効または無効にすることができます。デフォルトでは Enable Audio オプションが選択されています。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする)] ● [Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[キーボード ライト]	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Disabled]: キーボードライト機能は常にオフまたは 0% です。 ● [Dim]: キーボードライト機能を 50% の輝度で有効にします。 ● [Bright]: キーボードライト機能を 100% の輝度レベルで有効にします。
[AC でのキーボードバックライトのタイムアウト]	<p>この機能は、AC アダプターがシステムに接続されている場合の、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [5 秒] ● [10 秒] (デフォルト) ● [15 秒] ● [30 秒] ● [1 分間]

表 33. システム設定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [5 分間] • [15 分間] • [なし]
[Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリーでのキーボードバックライトのタイムアウト)]	<p>この機能は、システムをバッテリー電源のみで実行している場合の、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [5 秒] • [10 seconds](デフォルト設定) • [15 秒] • [30 秒] • [1分間] • [5分間] • [15 分間] • [なし]
[タッチスクリーン]	<p>このオプションでは、タッチスクリーンの有効化または無効化を制御します。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
[Unobtrusive Mode (控えめモード)]	<p>有効にした場合、Fn+F7 を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。Fn+F7 を押すと通常の実操作に戻ります。</p> <p>デフォルトでは無効になっています。</p>
[指紋認証リーダー]	<p>指紋認証リーダーまたは指紋認証リーダー デバイスのシングルサインオン機能を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [指紋認証リーダー デバイスを有効にする]: デフォルトで有効 • [指紋認証リーダーのシングルサインオンを有効にする]: デフォルトで有効
[その他のデバイス]	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable camera] - デフォルト • [Enable Secure Digital(SD) Card] • [セキュア デジタル (SD) カード起動]: 無効 • [セキュア デジタル (SD) カード読み取り専用モード]: 無効

ビデオ画面のオプション

表 34. ビデオ

オプション	説明
[LCD の明るさ]	<p>電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。電源は、バッテリー (50%がデフォルト) と AC (100%がデフォルト) です。</p>
[Dynamic Backlight Control]	<p>このオプションは、パネルがダイナミックバックライトコントロールをサポートしている場合、この機能を有効または無効にします。</p>

セキュリティ

表 35. セキュリティ

オプション	説明
[管理者パスワード]	<p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter the old password:] • [Enter the new password:] • [Confirm new password:] <p>パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。</p> <p>① メモ: 最初のログイン時には、[Enter the old password:] フィールドは [Not set] と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除できます。</p>
[システムパスワード]	<p>システムパスワードを設定、変更、削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter the old password:] • [Enter the new password:] • [Confirm new password:] <p>パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。</p> <p>① メモ: 最初のログイン時には、[Enter the old password:] フィールドは [Not set] と記されています。パスワードを初めて設定します。パスワードはあとで変更または削除できます。</p>
[強力なパスワード]	<p>常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Strong Password] <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
[パスワードの設定]	<p>パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。</p>
[パスワードのスキップ]	<p>これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をバイパスすることができます。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled] - デフォルト • [Reboot bypass (再起動のスキップ)]
[パスワードの変更]	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Allow Non-Admin Password Changes] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[管理者以外のセットアップの変更]	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップ オプションは Admin パスワードによってロックされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Allow Wireless Switch Changes] <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
[UEFI カプセルファームウェアのアップデート]	<p>システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable UEFI Capsule Firmware Updates] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[TPM 2.0 Security]	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p>

表 35. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [TPM On] - デフォルト • [Clear (クリア)] • [PPI Bypass for Enable Command] - デフォルト • [PPI Bypass for Disable Command] • [PPI Bypass for Clear Command] • [Attestation Enable] - デフォルト • [Key Storage Enable] - デフォルト • [SHA-256] - デフォルト
[Absolute®]	このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュールインターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。
[OROM Keyboard Access]	このオプションでは、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させることができるかどうかを設定します。この設定によって、インテル® RAID (Ctrl+I) またはインテル® マネジメント エンジン BIOS 拡張 (Ctrl+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable] • [One Time Enable (1 回のみ有効)] • [Disable]
[管理者セットアップ ロックモード]	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[マスター パスワード ロックアウト]	マスターパスワードのサポートを無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Master Password Lockout] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。  メモ: この設定を変更する前には、ハードディスク パスワードをクリアする必要があります。
[SMM Security Mitigation]	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [SMM Security Mitigation] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

セキュア ブート

表 36. セキュア ブート

オプション	説明
[セキュア ブートを有効にする]	セキュア ブート機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • [セキュア ブートを有効にする] - デフォルト
[セキュア ブート モード]	セキュア ブート操作モードを変更すると、セキュア ブートの動作が変更され、UEFI ドライバー署名の評価ができるようになります。 いずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Deployed Mode] - デフォルト • [監査モード]

表 36. セキュアブート (続き)

オプション	説明
[エキスパートキー管理]	<p>Expert Key Management を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [カスタムモードを有効にする] <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p> <p>Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> • [PK] - デフォルト • [KEK] • [db] • [dbx]

インテルソフトウェア ガード エクステンションズのオプション

表 37. インテルソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	<p>このフィールドでは、メイン オペレーティング システムのコンテキストでコードの実行や、機密情報の保存を行うためのセキュアな環境を設定できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [有効] • [Software controlled](デフォルト)
[エンクリープメモリ-サイズ]	<p>このオプションで、[SGX エンクリープ リザーブ メモリー サイズ] を設定します。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [32 MB] • [64 MB] • [128 MB](デフォルト)

パフォーマンス

表 38. パフォーマンス

オプション	説明
[マルチ コア サポート]	<p>このフィールドでは、プロセッサで1個のコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] — デフォルト • [1] • [2] • [3]
[インテル SpeedStep]	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [インテル SpeedStep を有効にする] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>

表 38. パフォーマンス (続き)


オプション	説明
[C ステータス コントロール]	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [C States] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[インテル®ターボ・ブースト™]	このオプションでは、プロセッサのインテル® TurboBoost™ モードを有効または無効にします。
[ハイパースレッド コントロール]	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [Enabled] — デフォルト

電源管理

表 39. 電源管理

オプション	説明
[AC 動作]	AC アダプターが接続されると PC の電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Wake on AC (ウェイクオン AC)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[インテル Speed Shift テクノロジーを有効にする]	このオプションを使用して、インテル Speed Shift Technology のサポートを有効または無効に設定します。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[自動電源オン時刻]	PC を自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled] - デフォルト • [Every Day (毎日)] • [Weekdays (平日)] • [Select Days (選択した日)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[USB ウェイク サポート]	USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)] • [Wake on Dell USB-C ドック] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[ワイヤレス通信の制御]	このオプションを有効にした場合、システムの有線ネットワークへの接続を感知して、選択したワイヤレス通信 (WLAN および/または WWAN) を無効にします。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が有効化されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Control WLAN radio (WLAN 無線の制御)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[ブロック スリープ]	このオプションでは、オペレーティング システムの環境でスリープに入ることを防ぐことができます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

表 39. 電源管理 (続き)

オプション	説明
[ピーク シフト]	<p>ピーク シフト機能を有効または無効にすることができます。この機能を有効にすると、需要ピーク時の AC 電源の使用量を最小限に抑えることができます。バッテリーは、ピーク シフト開始から終了まで充電されません。</p> <p>ピーク シフトの開始および終了時刻は、平日すべてに設定することができます</p> <p>このオプションは、バッテリーのしきい値 (15% ~ 100%) を設定します。</p>
[高度なバッテリー充電設定]	<p>このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。</p> <p>Advanced Battery Charge Mode は、平日すべてに設定することができます</p>
[プライマリー バッテリー 充電設定]	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Adaptive] - デフォルト • [Standard]: 標準速度でバッテリーをフル充電します。 • [ExpressCharge]: デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。 • [Primarily AC use (主に AC を使用)] • [カスタム] <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p> メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。</p>

POST 動作

表 40. POST 動作

オプション	説明
[アダプターの警告]	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、システム セットアップ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Adapter Warnings] - デフォルト
[有効な Numlock]	<p>システム起動時に Numlock オプションを有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Numlock] - デフォルト
[Fn ロック オプション]	<p>ホットキーの組み合わせ Fn + Esc で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fn Lock] - デフォルト <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ロックモード無効 / 標準] • [Lock Mode Enable / Secondary] - デフォルト
[ファストブート]	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Minimal] - デフォルト • [Thorough (完全)] • [自動]
[BIOS POST 時間を延長]	<p>プレブート遅延を追加で作成できます。</p>

表 40. POST 動作 (続き)

オプション	説明
	次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • [0 seconds] - デフォルト • [5 秒] • [10 秒]
[Full Screen logo]	画像が画面解像度と一致する場合は、フルスクリーン ロゴを表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Full Screen Logo (フルスクリーンロゴを有効にする)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[警告とエラー]	POST 中に警告またはエラーが検出された場合に、次のようなオプションを選択することができます。停止し、プロンプトを表示してユーザーの入力を待機する、警告が検出されたときには継続するがエラーでは一時停止する、警告でもエラーでも継続する。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • [Prompt on Warnings and Errors] - デフォルト • [継続する警告] • [継続する警告とエラー]
[ライフ インジケータの信号]	このオプションは、POST 中にユーザーが聞いたり感じたりできる方法で、電源ボタンが認知されたことをシステムが示すことができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [オーディオ ライフ インジケータの信号を有効にする] • [ディスプレイ ライフ インジケータの信号を有効にする] • [キーボード バックライト ライフ インジケータの信号を有効にする]

管理機能

表 41. 管理機能

オプション	説明
[USB プロビジョン]	有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT をプロビジョニングできます。
[MEBx ホットキー]	このオプションは、システムを起動するときに、どの MEBx ホットキー機能を有効にするかを指定します。

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 42. 仮想化サポート

オプション	説明
[Virtualization]	このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel Virtualization Technology] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[VT for Direct I/O]	ダイレクト I/O 向けインテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable VT for Direct I/O] このオプションは、デフォルトで設定されています。

表 42. 仮想化サポート (続き)

オプション	説明
[Trusted Execution]	<p>このオプションでは、インテル® トラステッド エグゼキューション テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を、MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <p>メモ: この機能を使用するには、TPM を有効にして起動しておき、また VT (仮想化テクノロジー) およびダイレクト I/O 向け VT を有効にする必要があります。</p>

ワイヤレスオプション

表 43. ワイヤレス

オプション	説明
[ワイヤレス スイッチ]	<p>ワイヤレス スイッチで制御できるワイヤレス デバイスを設定できます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [WWAN] • [GPS (WWAN モジュール)] • [WLAN] • [Bluetooth®] <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
[ワイヤレス デバイスを有効にする]	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [WWAN/GPS] • [WLAN] • [Bluetooth®] • [非接触型スマートカード / NFC] <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

メンテナンス

表 44. メンテナンス

オプション	説明
[サービス タグ]	Pc のサービス タグを表示します。
[Asset Tag]	<p>Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
[BIOS Downgrade]	<p>システム ファームウェアの以前のリビジョンをフラッシュすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[Data Wipe]	<p>すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Wipe on Next Boot] <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>

表 44. メンテナンス（続き）

オプション	説明
[BIOS リカバリー]	<p>[BIOS Recovery from Hard Drive] - このオプションはデフォルトで設定されています。HDD または外部 USB ドライブのリカバリーファイルから、破損した BIOS をリカバリーできます。</p> <p>[BIOS Auto-Recovery] - BIOS を自動的にリカバリーできます。</p> <p>メモ: [[BIOS Recovery from Hard Drive]] フィールドを有効にする必要があります。</p> <p>[Always Perform Integrity Check] - 毎回起動時に整合性チェックを実行します。</p>

システムログ

表 45. システムログ

オプション	説明
[BIOS events]	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
[Thermal Events]	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
[Power Events]	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。このトピックの詳細については、ナレッジ ベース記事 <https://www.dell.com/support/kbdoc/000134415/> を参照してください。

1. PC を再起動します。
2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。
 - [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから [Products] カテゴリを選択します。

メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。

12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[[BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート \(英語\)](#)]

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないにもかかわらず、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、起動可能な USB フラッシュ ドライブに保存します。

メモ: 起動可能な USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。Dell Diagnostics Deployment Package (DDDP) を使用して起動可能な USB フラッシュ ドライブを作成する方法の詳細については、次の記事を参照してください。

1. BIOS アップデート.EXE ファイルをダウンロードし、別のシステムに移動します。
2. ファイル (例 : O9010A12.EXE) を、起動可能な USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートが必要なシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、Dell スプラッシュのロゴが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して [USB ストレージ デバイス] を選択し、**Enter** をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>というプロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名を入力してファイルを実行します。たとえば、「O9010A12.exe」と入力し、**Enter** キーを押します。
8. BIOS アップデート ユーティリティがロードされます。画面の指示に従います。

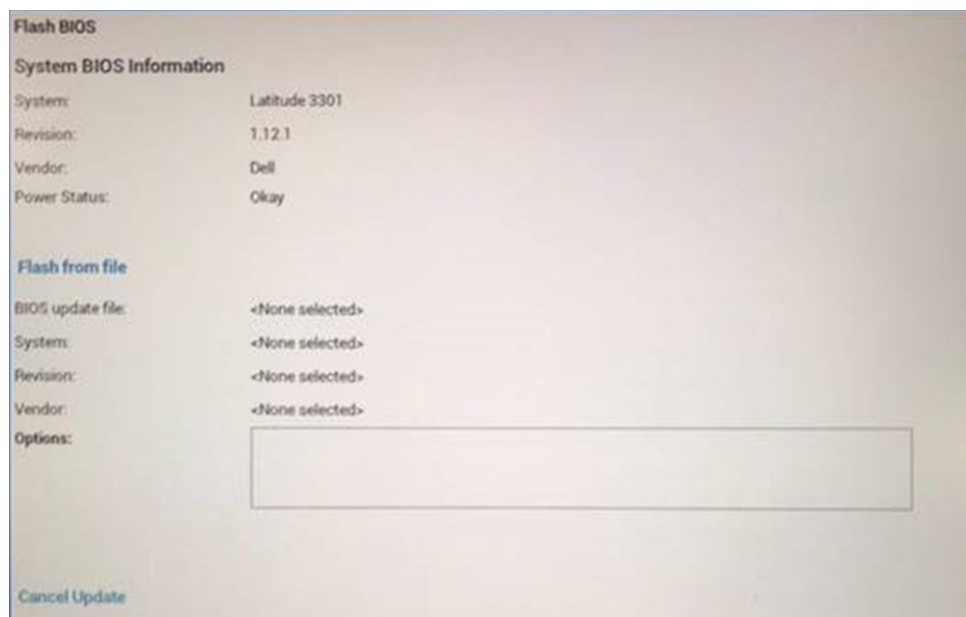



図 1. DOS BIOS のアップデート画面


システムパスワードおよびセットアップパスワード


表 46. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

 **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。


システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

- [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。
- [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([] (\) (]) (`)
- [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワードステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワードステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

- [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
- [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
- [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
- [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。

- Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

トピック：

- [Dell へのお問い合わせ](#)

Dell へのお問い合わせ

① **メモ:** インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [Dell.com/support] にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。